

平成30年度

北海道教育大学旭川校  
地域連携活動事例紹介



令和元年

北海道教育大学旭川校地域教育連携・貢献推進委員会



## 目 次

### 解 説

地域連携活動 実施報告シートについて	・・・ 3
--------------------	-------

### 報告シート

・ 鷹栖っ子土曜教室 がんばるど!	・・・ 4
・ 冬休み中の勉強会	・・・ 5
・ 上富良野高校サポーター派遣事業	・・・ 6
・ ちょこっと学習（チャレンジ学習）	・・・ 7
・ 通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」	・・・ 8
・ 浜頓別町「土曜学習塾」	・・・ 9
・ 北オホーツク100kmマラソン大会ボランティア	・・・ 10
・ 旭川市通学合宿	・・・ 11
・ 枝幸町大学生フレンドシップ事業	・・・ 12
・ 旭川西高校ゼミ体験学習	・・・ 13
・ エデュケーションカフェ2018	・・・ 14
・ 旭川東高校教育系ディスカッション	・・・ 15
平成30年度なかとんべつ放課後子どもプラン ・ 子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2018夏 子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2019冬	・・・ 16
・ 道北おとぼけキャラバン	・・・ 17
・ 小学校金管バンドの指導支援ボランティア	・・・ 19
・ 平成30年度夏休みチャレンジ教室	・・・ 20
・ 第14回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア	・・・ 21
・ プレゼンテーション講座	・・・ 22
・ 旭川市立神楽保育所運動遊び指導	・・・ 23
・ 多寄町民健康教室指導	・・・ 24
・ 旭川市立保育所研修会	・・・ 25
・ スポーツ少年団リーダー宿泊研修会	・・・ 26
・ 運動能力UP遊び体験会	・・・ 27
・ 旭川市立神楽保育所豆まき大会	・・・ 28
・ 出前授業（釧路市立山花小中学校）	・・・ 29
・ 出前授業（釧路町立昆布森小学校）	・・・ 30
・ 出前授業（帯広市立第四中学校）	・・・ 31
北海道旭川西高等学校 平成30年度SSH事業 理数科課題研究 ・ 中間報告会 課題研究発表会	・・・ 32

## 付属資料

・ 学生ボランティア派遣事業（概要）	・・・ 33
・ 平成30年度 授業公開講座／一般公開講座 開講一覧	・・・ 36
・ 平成30年度 大学訪問受入／出前講座 実績一覧	・・・ 37
・ 平成30年度 審議会等委員 派遣一覧	・・・ 38
・ 平成30年度 講演会講師・助言者等 派遣一覧	・・・ 42

## 【解説】地域連携活動 実施報告シートについて


このシートは、北海道教育大学旭川校の教員が主体として、または橋渡し役として行っている地域連携活動をまとめたものです。内容は、自治体や教育関係団体と本学教員が共同で行っている事業、本学教員による研修会・講演会、学生の派遣事業など多岐にわたっております。

なお、本報告は教員の自主申告に基づいており、必ずしも現在行われている地域連携事業のすべてを網羅したものではありません。また、内容が一部重複するところもあります。

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		鷹栖っ子土曜教室 がんばるど！	
実施日時・期間		平成30年10.11月・平成31年2月の各土曜日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	鷹栖地区住民センター
		市町村名	鷹栖町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウニリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウニリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	旭川校学生 4～6名	
	対象者とその人数	鷹栖町小学生 約20名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小学生の学習支援	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、鷹栖町の児童の学力向上を目指し、基礎的な学習内容の復習や定着など、児童一人ひとりが『自分のめあて』を持って学習し、鷹栖町内の小中学校の学習支援員8名と指導主事を中心として、本学学生がボランティアとして参加する。</p> <p>本年度は、7.9月の派遣学生が確保できず、10.11月に、社会科教育専攻の教職実践演習に関わり、4名の学生が10.11月中にそれぞれ2回ずつ参加することを申し出たが、先方からそれぞれ1回ずつの参加が要請された。2月に改めて学生の参加を呼び掛けたところ、4回の実施日のうち3回、延べ6名の学生が参加した。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		冬休み中の勉強会	
実施日時・期間		平成30年12月26-28日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	浜頓別小学校・浜頓別町立図書館
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	旭川校学生 5名	
	対象者とその人数	小学生 50名, 中学生 6名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小中学生への学習支援	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、浜頓別町教育委員会主催の、長期休業中に学校で学習会を行うことで、学習習慣を身につけ、学習の楽しさを教えるとともに、指導スタッフと世代間交流を実施することにより少年の健全育成を図ることを目的とするものである。午前は浜頓別小学校で、教育委員会が用意した学習プリントを中心に2時間(9:30-11:30)、午後は浜頓別町立図書館で、生徒の用意した教材を利用して2時間(13:00-15:00)、学習時間が取られた。一日あたり小学生は50名、中学生は6名が参加した。</p> <p>今回は、音楽分野の学生1名と、社会科教育専攻における教職実践演習の一環として、4名の4年生が参加した。</p>			
			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)	
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]	
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的実施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		上富良野高校サポーター派遣事業	
実施日時・期間		平成30年9月3-4日・平成30年11月27-28日 平成31年2月18-19日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	上富良野高校
		市町村名	上富良野町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	旭川校学生 各1名	
	対象者とその人数	上富良野高校生 数名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		要支援生徒の試験対策	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、北海道の「北海道高等学校学校サポーター派遣事業」の採択を受けた上富良野高校が、特別な教育的配慮を必要とする生徒を中心に、放課後の時間を利用して学習支援を強化することにより生徒の学習意欲や学力向上をめざし、定期試験前の2日間につき数学を中心とした考查範囲の学習補助を実施するものである。</p> <p>合計で3回実施され、社会科教員志望の社会科教育専攻の4年生が各1名派遣された。11月・2月については、北海道の高校教諭での採用が決定している学生が事業に参加した。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		



## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		ちよこっと学習(チャレンジ学習)	
実施日時・期間		平成30年6月16日・7月14日・8月8日・8月9日・9月22日・11月7日・平成31年1月10日・1月11日・2月16日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	上富良野町社会教育総合センター
		市町村名	上富良野町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	旭川校学生 1~4名	
	対象者とその人数	小学生 約20名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小学生の学習サポート	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、上富良野町教育委員会が主催する、小学4年生から6年生を対象とした連続講座である。ねらいとして、①学校の授業以外で小学生が学習する環境(進んで学ぶ)、②年齢の近い中高生や大学生と学習する環境(楽しく学ぶ)③地域ボランティアを活用し、地域全体で小学生を見守る学習環境(人と関わって学ぶ)を構築することと定めている。国語・算数を対象とし、それぞれ30分ずつの学習時間の後にチャレンジテスト(40分)で学習の成果を測る。</p> <p>本学には、②にかかり、大学生の派遣が要請され、不定期で計9回実施される事業のうち、1回から5回にそれぞれ4名、6回・9回に1名、7・8回に2名の学生が参加した。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的実施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		通学合宿事業「はまとんべつ寺子屋塾」	
実施日時・期間		平成30年7月1日～6日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	永生寺
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	音楽分野4年生 2名	
	対象者とその人数	小学生 約15名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小学生の通学合宿のサポート	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、浜頓別町教育委員会が主催するもので、小学校4年生から6年生を対象に、「子どもたちが、異年齢の集団の中で共同生活をしながら通学をする生活体験により、協調性や社会性を養うことを目的とする」ものである。町内の永生寺で実施されて30年以上が経過している息の長い事業である。</p> <p>本学は、浜頓別町との相互協力協定に基づき、本事業に対して学生の派遣を継続して行ってきた。本年度は、音楽分野の女子学生2名(うち1名は水曜日から)が参加した。</p> <p>本年度は以下のようなスケジュールとなっている。</p> <p>7月1日 オリエンテーション・夕食作り・銭湯体験 7月1日～6日 朝食作り・夕食作り・銭湯体験・後片付け 7月6日 朝食作り・まとめ</p> <p>学生は、活動全般で小学生をサポートした他、事業期間中毎日更新される浜頓別町教育委員会社会教育係ブログ・Facebook等のアップ作業も手伝った。なお、浜頓別町教育委員会社会教育係ブログは以下のURLから閲覧可能である(<a href="http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/sed/">http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/sed/</a>)。</p> <p>なお、先方からは、以下のような感謝の言葉を頂いている。「寺子屋塾について、生徒派遣にご協力いただきありがとうございました。例年になく寒く、体調の不安もありましたが無事、終了することができました。ブログ・たよりの作成や、子ども達の安全管理から、指導までやっていただき、大変助かりました。5泊6日で、朝も早く、夜も振り返りをし、大変ハードだったと思いますが、子ども達に、いろいろな経験をさせることができました。」</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		浜頓別町「土曜学習塾」	
実施日時・期間		平成30年8月を除く毎月土曜日(各月1回)	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	浜頓別町図書館視聴覚室等
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	数学教育専修大学院生 1名, 数学教育専攻4年生 1名	
	対象者とその人数	小中学生 約30名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小中学生に対する算数・数学の学習指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、「町内の小学校・中学校の児童・生徒が、月1回程度土曜日に定期的に学習することにより学力や体力の向上や習慣化を図ることを目的とする」ものである。参加対象は、小学校4-6年生と中学生で、小学生に対しては、英語・算数・運動(不定期)の3コース、中学生には数学コースを設け、運営者側が用意した教材にしたがって学習を進める。</p> <p>本学は、小学生向けの算数コースおよび中学生向けの数学コースについて、学生派遣を要請された。数学教育専修の大学院生1名と数学教育専攻の4年生1名の参加が決まり、7月までは交代で、10月からは2名体制で派遣を実施する。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		北オホーツク100kmマラソン大会ボランティア	
実施日時・期間		平成30年7月21日～22日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	浜頓別町多目的アリーナほか
		市町村名	浜頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		浜頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	北海道教育大学旭川校社会学ゼミ	
	運営者とその人数	教員 1名, 社会科教育専攻学生 16名	
	対象者とその人数	大会エントリー 約500名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		前夜祭のサポート・エイドステーションの運営	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、浜頓別町が主催するウルトラマラソンで、今回で第8回となる。近年のマラソンブームもあり、また、本大会も年々認知度が高まり、500名を超える参加者が集まる。5時から始まり19時をリミットとする大会であり、さらには、参加者の増加も相俟って、ボランティアに対する需要が増加し、町内のボランティアのみでは運営が難しい状況になっている。</p> <p>2013年度末に浜頓別町を訪れた際、本大会への学生ボランティア派遣について話があり、以来、本学旭川校の社会学ゼミで大会にボランティアとして参加することとなっている。ゼミの年中行事の一つとして恒例化することになり、持続的な参加が可能な形となっており、今年度は教員1名と学生16名が参加した。</p> <p>本年度割り当てられた役割は、以下のとおりである。</p> <p>21日 前夜祭の準備・レセプション・後片付け手伝い 22日 A班 仁達布エイドステーション手伝い(7:10-15:10) B班 仁達布エイドステーション手伝い(10:40-18:40) C班 大会会場リザルト掲示(11:00-19:00)</p> <p>今年度も天候に恵まれ、日差しが強まる中、学生たちは大会運営に貢献してくれた。本事業への参加は5年目となり、特に上級生を中心に、臨機応変な対応ができるようになってきている。浜頓別町にとっても、運営スタッフの一員として期待できる存在となっていると思われる。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的実施	●	

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市通学合宿	
実施日時・期間		平成30年8月30日～9月1日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	春光台公民館・啓明地区センター
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		旭川市	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	(春光台)生活技術専攻4年生 3名 (啓明)社会科教育専攻1年生 1名	
	対象者とその人数	小学生 約40名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		通学合宿のサポート	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、地域住民によって構成される通学合宿実行委員会が主催者となって行われるもので、旭川市および市内各地区に設置されているまちづくり推進協議会との共催事業でもある。①「早寝・早起き・朝ごはん」を意識し、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに家族と離れて集団生活を送ることで、家族への思い、自立性・協調性を高める、②子離れ体験を通じて子供への関わり方を見つめ直すとともに、わが子の大切さを感じるきっかけづくりを行う、③地域住民や様々な団体が連携して少年の育成に取り組むことで、地域で子供を育てる意識を高めるとともに、地域の連帯感を高める、という3つの目的を持って実施されている。</p> <p>本年度は、高台小学校・啓明小学校の4-6年生を対象として実施され、本学に対しては、高台小学校・啓明小学校においてそれぞれ男子学生1名・女子学生2名の派遣を要請された。残念ながら、啓明小学校の女子学生2名は派遣することができなかった。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	
		・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]	



## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		枝幸町大学生フレンドシップ事業	
実施日時・期間		平成30年9月4日～6日(予定は7日まで)	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	枝幸町中央コミュニティセンター, 枝幸町内小中学校
		市町村名	枝幸町
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		枝幸町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		枝幸町教育委員会	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	地域教育連携・貢献推進委員会	
	運営者とその人数	地域教育連携・貢献推進委員 2名, 旭川校学生 15名	
	対象者とその人数	小学生 約70名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小中学生を対象とした教育支援プログラム	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は, 本学旭川校と枝幸町による協力協定に基づき, 枝幸町教育委員会が主催し, これで11回目となる。今年度は, 保健体育2グループ・音楽2グループ・技術1グループの3分野5グループが参加した。訪問先での活動内容は, 訪問校の希望による活動と, 学生が計画し実施する学生プログラムに分けられる。</p> <p>今年度の学生プログラムは, 保健体育Aグループがソフトフリスビーを使った「隠し王様ドッジビー」, 保健体育Bグループがソフトフリスビーを使った「アルテメット」といった, 通常の体育授業では扱われない運動をそれぞれの学校に応じて実施することができた。</p> <p>音楽グループは, リズム学習ゲームや楽器の解説を交えた音楽鑑賞活動などを, 訪問先の学校の実情に応じてアレンジしながら実施した。</p> <p>技術グループは, Lego Mindstorms NXT (ロボットキット)を用いた車両型ロボットの製作を行った。ロボットは2つのモーターで前進, 後退, 旋回が可能であり, プログラムによって四角形を描いて動くなど動作を設計することができる。また, 距離センサを前方に向けて取り付けることで, 障害物の手間で停止させることができる。停止距離のパラメータを調整し, 障害物にどれだけ近づいて停止できるかに挑戦した。学生の提供する企画以外の時間は, 複数の教室に分かれて普段の複式学級の学習に参加した。(なお, 技術グループおよび保健体育グループの4年生は, 教職実践演習の一環として活動した)</p> <p>どのグループも受け入れ校から好評であり, 枝幸町からは次年度以降も本事業を継続して欲しいと切望されている。</p> <p>音楽グループは, 初日の夜に, 地元の合唱団との交流を行い, 地方における文化団体の運営について学んだほか, 合唱に参加するといった活動も行った(今回で5年目)。</p> <p>残念ながら, 今年度は, 地震に伴う停電の影響で町内の各校が臨時休校となり, 6日の取組は中止となった。</p> <p>なお, これらの実施にあたって枝幸町教育委員会は, 各学校との調整, 旭川から枝幸町への移動も含めた参加学生の交通費を, また本学では, 学生プログラムの開発・実施, 参加者の宿泊費について分担している。今年度も宿泊費は, 大部屋の使用により経費節約を心掛けた。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的実施	●	

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川西高校ゼミ体験学習	
実施日時・期間		平成30年11月9日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道教育大学旭川キャンパス
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		旭川西高校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	広報委員会	
	運営者とその人数	教員 43名, 旭川校学生 多数, 事務職員 1名	
	対象者とその人数	旭川西高校生 240名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		旭川西高校の1年生が大学のゼミ活動を体験する	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川西高校との高大連携事業の一環として取り組まれているものであり、西高の1年生を対象に、大学におけるゼミ活動に直接あるいは間接に参加し、大学における学習を体験させることを目的としている。タイムスケジュールは以下のようになっている。</p> <p>13:30 西高生来校 13:40 大学概要説明・OBOG在校生からのメッセージ 14:20 移動 14:40 ゼミ活動への参加(15:30を目処に各自解散)</p> <p>今年度は、高校生の受け入れに応じてもらえた43のゼミに3-20名の高校生を割り振り、ゼミ活動を体験してもらった。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答		【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		エデュケーションカフェ2018	
実施日時・期間		平成30年12月15日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道教育大学旭川キャンパス
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		大学からの提案	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学法人	
	担当者・担当委員会など	広報委員会	
	運営者とその人数	教員 1名, 旭川校学生 10名, 事務職員 1名	
	対象者とその人数	高校生 55名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		希望する高校生に授業づくりの体験をさせる	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川近隣の、学校の教師を指し、本学に興味・関心を持つ高校2年生を対象に、授業案作成と模擬授業を体験してもらうことを中心としたものである。「先生になって学校の授業をしてみよう!」とのテーマの下、本年度は英語・社会・数学・家庭科・保健体育の5専攻分野に協力してもらい、大学生の指導・助言の下で、高校生が授業を組み立て、実際にグループの代表者が短時間の模擬授業を行っている。</p> <p>本年度は、55名の高校生が参加、各教科に11名ずつの高校生が割り振られ、各教科2名の大学生の指導の下で主に導入部分の授業の構成と代表者による模擬授業を実施した。</p> <p>最後の、大学生および高校生の感想では、高校生の頑張りをたたえる意見と、授業づくりの楽しさに触れる感想が多く寄せられた。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答		<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的実施		



## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川東高校教育系ディスカッション	
実施日時・期間		平成31年3月29日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道教育大学旭川キャンパス
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		旭川東高校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	広報委員会	
	運営者とその人数	教員 6名, 学生 10名	
	対象者とその人数	旭川東高校生 24名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		教員が提示したテーマに沿って高校生がディスカッションテーマを設定し、高校生を中心に議論する	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、教員志望者や教育学を研究したいと考えている旭川東高校の生徒が、広い視野で物事を捉え、自ら問題を発見し、意欲的にその解決に取り組み、教員や教育研究者として活躍するにふさわしい資質の養成を目指すべく、教員志望者のためのグループディスカッションを開催するものである。</p> <p>今回は、「関心・意欲を高める授業づくり」「発達障害について(発達性ディスクレシア)」「あなたがふだんの生活の中で接している言葉から考えて、今の国語(日本語)は乱れている、あるいはゆれていると思いますか。それとも、乱れていない、あるいはゆれていないと思いますか」「気候のレジームシフト下での北海道の自然環境の保全について」歴史を学ぶ意義は何か?」「教えないで効果を上げる教育の在り方とは」の6つのテーマを立て、それぞれ高校生と大学の指導・助言者が協力してPPのスライドを作成し、ディスカッションテーマを提示し、それに従ってディスカッションを進めた。ディスカッションには、高校教員や大学生も参加し、意見を述べた。</p> <p>各グループに10分の報告・25分のディスカッションの時間を割り振ったが、高校生を中心に活発な議論が展開され、ディスカッション時間が足りないと思われるほどの盛況であった。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答		【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		平成30年度なかとんべつ放課後子どもプラン「子ども未来塾・なかとんべつチャレンジ教室2018夏・2019冬」	
実施日時・期間		平成30年8月9日～10日, 平成31年1月9日～10日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	中頓別町民センター・寿スキー場ほか
		市町村名	中頓別町
相互協力協定先 (協定先がある場合, 市町村名, 学校名等を記載)		中頓別町	
共催者の有無 (共催者がいる場合は, 共催者名を記入)		中頓別町教育委員会	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	芳賀 均(地域教育連携・貢献推進委員会)	
	運営者とその人数	旭川校学生 2名, 中頓別町教育委員会職員 2名ほか	
	対象者とその人数	児童 数十名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		異年齢の子ども・大人との交流や, 体験活動を通じた多様な学習機会を設定し, 地域教育力の向上を図る活動	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は, 添付ファイル等でご提供ください。			
<p><b>【夏】</b>          ○対象 中頓別小学校 1年生～6年生          ○場所 学習: 町民センター 和室ほか          運動: 山村水泳プール, 町民体育館          地域社会の中で, 異年齢の子ども・大人との交流並びに子どもたちの体験活動を通じ, 心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに, 地域の特色を活かした多様な学習機会を提供し, 地域教育力の向上を図ることを目的として, ①水泳にチャレンジ, ②釣りにチャレンジ, ③夏休みの宿題にチャレンジ, という3つの目標が設定された活動である。プログラム全般のサポートとして, 2名の学生が参加した。</p> <p><b>【冬】</b>          ○対象 中頓別小学校 1年生～6年生          ○場所 学習: 中頓別町民センター レクリエーション室ほか          運動: 寿スキー場, 中頓別町民体育館          夏と同様の目的のもと, 運動と学習における目的を定め, 挑戦する意欲を高める活動内容で進め, 児童の体力づくりと学力向上を図ることが意図され, ①「スキージュニアバッジテスト」にチャレンジ, ②「道北の野生生物を知ろう」にチャレンジ, ③「苦手な勉強(科目)」にチャレンジ, という3つの目標が設定された活動である。プログラム全般のサポートとして, 2名の学生が参加した。          スキーは, 後日(1週間後), ジュニアバッジテストが開催され, 子供たちは合格したとのことである。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ, キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として, 平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施	●	

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		道北おとぼけキャラバン	
実施日時・期間		平成30年5月～平成31年3月	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	道北・道東の各地
		市町村名	道北・道東の各市町村
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		事業により、各市町村の教育委員会等と共催の場合あり	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		大学からの提案	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	キャンパス	
	担当者・担当委員会など	芳賀 均(地域教育連携・貢献推進委員会)	
	運営者とその人数	各回 大学教員 1名, 旭川校学生 3～4名, 外部協力者 1名	
	対象者とその人数	地域住民及び児童 各回 数十名～100名程度	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		アウトリーチによる地域貢献としての音楽出前授業・音楽演奏等	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
音楽分野の音楽科教育担当教員(芳賀)と、外部の協力者(ヴァイオリニスト・早川氏)、および音楽分野の有志学生により、平成30年度は、主に以下の活動を行った。(※印は学生の関わったもの)			
●キャラバンの記録			
H30.05.25(金)12:55～ 弟子屈町立和琴小学校体育館 in屈斜路和琴「楽器について楽しく学ぶ」音楽教育コンサート			
H30.05.26(土)10:15～ 帯広市立豊成小学校音楽室 in十勝帯広「楽器や演奏について学ぶ」音楽ものしりコンサート			
H30.05.27(日)13:30～ 様似町立様似図書館 in日高様似「演芸を交えて楽しくふれる」おもしろ音楽コンサート			
H30.05.28(月)15:30～ 新ひだか町 こうせい児童館 in新ひだか町静内「音楽ゲームもある！演芸で楽しくふれる」びっくり音楽コンサート			
H30.05.29(火)5・6校時(同内容2公演) 近文小学校音楽室 in近文小学校「音楽ゲームもある！5年生のための」楽しく学ぶ音楽の時間			
H30.06.22(金)5校時 和寒町立和寒小学校 音楽鑑賞教室「学生アンサンブル」学生楽団			
H30.07.10(火)5校時 和寒町立和寒小学校体育館 出前授業「リミックとリズム学習ゲーム」			
H30.09.02(日)1～3校時 留萌市立緑丘小学校 プログラミング・リズム学習の出前授業			
H30.09.19(水)3～4校時 名寄南小学校 音楽鑑賞教室「学生アンサンブル」学生楽団			
H30.10.13(土) 風連下多寄小学校学芸会 閉校記念学芸会 学生楽団			
H30.10.27(土) 旭川盲学校 学芸会における共演と、学生のための演奏 学生楽団			
H30.10.29(月) 留萌市緑丘小学校 出前授業「アイヌの音楽」			

H30.11.03(土)H30.11.04(日)

浜頓別町民文化祭・中頓別町民文化祭

中頓別については中学校の吹奏楽部との共演。

吹奏楽部が5～6名であり、彼らの吹奏楽継続への意欲となるようにとの要望。学生楽団

H30.11.10(土) 和寒町公民館

in和寒 学生楽団

H30.11.19(月)2h～6h 小平町立小平小学校

プログラミング、リズム学習の出前授業

H30.12.10(月)1h～6h 名寄南小学校

プログラミングの出前授業

H31.02.20(水)6校時 近文小学校(5年生PTA)

in近文小学校 学生楽団

上記のほか、平成31年2・3月にも6箇所9実践を実施。

本事業は、平成26年12月より、「道北おとぼけキャラバン」と称する、アウトリーチによる地域貢献としての音楽演奏等の実践である。音楽演奏の他、合科的学習を含む出前授業にも取り組んでいる。これまでの取組は、研究紀要や新聞の報道の文章からも、「演奏の出前」「芸術の普及」「需要の発掘」を達成するものとなっていると考えられる。また、音楽の分野に留まらず、地域貢献としての効果を得られたと考えられる。

一方、本実践の意義として「演奏する学生にとっても、授業等の実践力の向上を図る場にする」「学生にとっては、通常の大学の授業によってのみでは得られにくい経験ができる。音楽の授業に近い形態で行う本コンサートの取組においては、授業方法について学べ、聴衆を相手にして実践する中で、それを経験することができる」といった点も挙げられ、教職への意識や地方への関心等に向上が見られた。

対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート



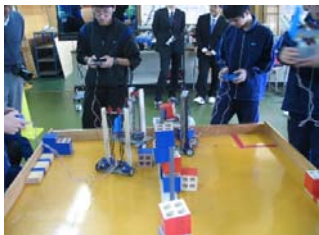

事業名称		小学校金管バンドの指導支援ボランティア	
実施日時・期間		平成30年4月～11月(主に火曜日、および土曜日にも実施)	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立近文小学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		大学からの提案	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 芳賀 均	
	運営者とその人数	各回 大学教員 1名, 旭川校学生 10名程度	
	対象者とその人数	旭川市立近文小学校ブラスバンド児童 約20名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		少年団活動として旭川市立近文小学校で伝統的に行われている金管バンド活動の指導支援を行う活動	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>音楽分野の1年生が、4～11月にかけて、旭川市立近文小学校において、少年団活動として旭川市立近文小学校で伝統的に行われている金管バンド活動の指導支援を行う活動である。この少年団は、3～6年生の希望者で構成されるが、特に最上級生が卒業して3年生の初心者が加入してくる春の活動が困難さを抱える。指導者は教員2名とボランティアの保護者若干名であるが、そこに、外部ボランティアを導入することにより、譜読みや演奏法等に関する指導上の効果を上げるとともに、学生の意識改革を促すことを目的としている。</p> <p>また、秋のコンクールに向けて、学生も感情移入しながら一緒に取り組むことにより、教育という営みの有機的な面に気付いてもらいたいと考えている。</p> <p>なお、この事業は「教育フィールド研究Ⅱ」の一部として実施している。</p> <p>本学旭川校は中学校の教員養成に力を入れているが、本活動を通して、教科の専門的な内容だけでなく、教育という営みそのものに学生の意識が向いたことが大きな成果である。1年生の4月という、まだ教育実習を経験しないどころか入学早々の時期から、継続的に(やがては中学生へと育っていく)小学生の子供たちと触れ合ったことにより、受け手の気持ちに気付き、一方的な指導に陥らない感覚をもつことができたようである。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		



## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		平成30年度夏休みチャレンジ教室	
実施日時・期間		平成30年8月6日～10日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	利尻富士町立鴛泊小学校
		市町村名	利尻富士町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻保健体育分野 三浦 裕	
	運営者とその人数	旭川校学生 7名	
	対象者とその人数	利尻富士町児童生徒 82名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		小中学生を対象とした体験事業	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>平成30年度夏休みチャレンジ教室は、8月6日～10日の5日間、利尻富士町立鴛泊小学校で行われました。夏休みチャレンジ教室は、将来教員を目指す学生と子ども達・自然との触れ合い、また、学習機会や様々な体験活動を提供することを目的とした事業です。</p> <p>今年の夏休みチャレンジ教室は、北海道教育大学旭川校から7名の学生を派遣し、利尻富士町からは82名の児童生徒が参加しました。5日間の予定は、学習支援として夏休みの宿題への対応や、スポーツ・レク、また工作活動として宗谷総合振興局森林室から講師として2名派遣して頂き、木育教室を行いました。木育教室では屋外活動や創作活動をして自然とふれあいました。この他、体験活動として、水てっぽうやプール・海水浴、夜にはバーベキューをしテントに宿泊するキャンプもしました。</p> <p>今後も継続して事業を行い、事業を通して子どもの健全育成に力を注ぎ、安心・安全な居場所づくりをより一層進めていきます。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答		<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		第14回上川管内中学生創造ものづくり教育フェア	
実施日時・期間		平成30年11月11日(日)	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立緑ヶ丘中学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		上川管内中学校技術・家庭科研究会, 旭川市教育研究会技術・家庭科研究会	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	生活・技術教育専攻 渡壁 誠, 川邊 淳子	
	運営者とその人数	上川管内中学生創造ものづくり教育フェア実行委員会 20	
	対象者とその人数	上川管内の中学生 31名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		技術・家庭科で学習した内容に即した学習成果発表競技会	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は毎年開催されている中学校技術・家庭科の学習成果を競う、上川管内の中学生の競技会である。また、中学校教員からは教員の教科指導や評価の研鑽の機会として位置づけられ、本年度で14回目の実施となる。競技会は家庭分野のエンジョイソーイング、技術分野の木工の匠(市販キットを用いた木工作品製作)およびロボットコンテストからなる。ロボットコンテストは毎年行われる全国中学生創造ものづくりフェアにおける競技大会の規定を参考に企画され、授業の内容に即したレギュレーションを定め行っている。ロボットコンテストでは8月に事前講習会を本学教員が行っている。講習会において本学学生が制作したロボットを参考にデモンストレーションを行う。フェア当日には学生が全面的にサポートすることにより、現職教員や中学生とのコミュニケーションを図る。加えて、イベントの運営方法を学ぶ。</p> <p>今年度はソフトバンクと交渉の結果、大会会場にてPepperのデモンストレーションとPepperのプログラミング体験を行った。</p>			
  			
 			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		プレゼンテーション講座	
実施日時・期間		平成30年12月20日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道旭川西高等学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		北海道旭川西高等学校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	社会科教育専攻 角 一典	
	運営者とその人数	大学教員 1名	
	対象者とその人数	旭川西高校1年生 240名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		高校生向けの研究の手引き	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の採択を受けている旭川西高校が、1年生向けに実施しているプレゼンテーション講座にかかり、研究を進めていく上での必要な考え方や方法・技法・作法につき、生徒に教授した上で、生徒に課題を与えてグループディスカッションをし、その成果を発表するというものである。大学教員は、スタートの部分に当たる研究の入門的内容を講演し、生徒たちの発表に対して講評を述べた。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		



## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市立神楽保育所運動遊び指導	
実施日時・期間		平成30年8月～平成31年2月	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立神楽保育所
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚, 運動学ゼミナール	
	運営者とその人数	教員 1名, 旭川校学生 5名	
	対象者とその人数	神楽保育所に通所する幼児 約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		投げる動きの発達を促す運動遊びの指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市立神楽保育所の要請を受けて、保育所の子どもたちとの運動遊びを計画・実施しています。年中児と年長児(計50名)を対象として2018年8月から継続的に、投げる動きを取り入れたゲーム性のある運動遊びを60分程度行っています。指導は毎月1度実施することになっています。今後は、徐々にルールを複雑にし、ゲーム性を高め、最終的にはドッジボールを楽しむことができるように指導していく計画です。年度末は仕上げの時期でもあり、年中児、年長児ともに、ルールを守りゲームを楽しむことを目指して活動しました。年中児は用具を工夫し、投げる捕る動きを容易にすることで、ゲームのルールに注意が向くように指導しました。年長児では、ドッジボールを使用し、幼児の投げる捕る能力の発達を促しながら、さらにルールを守りゲームを楽しめるように指導を展開しました。ルールを簡略化するなどの配慮を必要としたものの、総じて子どもたちはドッジボールを楽しみ、球技に前向きな姿勢を示しました。子どもたちは学生との運動遊びに夢中になって取り組み、学生は子どもたちと向き合う中で子ども理解や(教師としての)自分自身のあり方についての気づきがあり、互いに多くを学ぶ機会となりました。保育士のみならずにも用具の使い方や運動遊びの展開方法に学ぶ点が多かったと好評でした。</p> <p>来年度は新たな目標設定のもと活動することになりますが、幼児が体を動かす楽しさを存分に味わえるよう、努力と工夫を忘れずに取り組んで参ります。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		多寄町民健康教室指導	
実施日時・期間		平成30年11月23日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	土別市立多寄中学校体育館
		市町村名	土別市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		多寄スポーツクラブ、多寄スポーツ少年団	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚, 保健体育分野	
	運営者とその人数	大学教員 1名, 旭川校学生 11名	
	対象者とその人数	多寄町民 約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		多寄町民健康教室において体力測定 of 補助および運動指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、土別市多寄町民健康教室(主催:多寄スポーツクラブ・多寄スポーツ少年団)の要請を受けて、多寄町の小中学生および高齢者の体力測定や運動指導を実施するものである。本年度は、本学学生11名が参加し、準備運動から、体力測定、運動指導、休み時間に至るまで、地域の方々と積極的に交流した。準備運動では、小学低学年生から高齢者まで幅広く楽しめるオリジナル体操を考案し、指導した。体力測定は、地域のみなさまが中心となって行ったが、学生は適宜行い方を指導したり、測定の補助に入りサポートしていた。高齢者の健康教室では、普段接することの少ない高齢者との交流を楽しみつつ、運動能力の加齢変化に驚いた様子で、大変勉強になったとの感想も聞かれた。子どもたちが主役の筋肉番付では、行い方を指導するなど、大学の講義、実習、部活動等で日頃培った指導力を発揮していた。地域の方から、ボールを投げたり蹴ったりすることが苦手な子どもが多いので、ぜひ投げ方と蹴り方の指導をして欲しいとの要望があったので、遊びを通じた投げ方・蹴り方の指導を即興で行った。子どもたちの動きがみるみる変わり上達する様子に、地域の方たちはもちろん、子どもたち本人も驚いていた様子であった。健康教室終了後は、慰労会が催され、短時間ながら地域の方々との交流し、地域にひらかれていることとはどんなことか肌で感じたようだった。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市立保育所研修会	
実施日時・期間		平成31年2月14日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立神楽保育所
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		旭川市立保育所	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚	
	運営者とその人数	教員 1名	
	対象者とその人数	旭川市内の保育者 約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		旭川市内の保育者を対象とした研修会	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市立保育所が旭川市内の保育業従事者を対象に研修会を実施するものです。板谷は、旭川市立保育所の依頼により、事前に研修会の発表内容や研修の進め方にかんする助言を行いました。研修会当日も参加し、研修の円滑な進行をうながす役割を担いました。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		スポーツ少年団リーダー宿泊研修会	
実施日時・期間		平成31年1月26日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	富沢小学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		旭川市体育協会・旭川市スポーツ少年団	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚, 運動学ゼミナール	
	運営者とその人数	教員 1名, 旭川校学生 3名	
	対象者とその人数	スポーツ少年団所属の小学生 40名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		地域の少年団のリーダー養成研修会	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市スポーツ少年団主催のリーダー養成宿泊研究会をサポートするものです。対象はスポーツ少年団に所属し、リーダーとして活躍を期待される小学生約40名です。板谷は、講義「リーダーになろう」を担当し、リーダーとは何か、リーダーの役割、およびリーダーのタイプについて講話を行いました。同行した学生は、スポーツ活動の指導を担当し、学年性別の隔てなく楽しめるドッジボールを指導しました。さらに、誰もが楽しめるようにルールを工夫したドッジボールを数種類紹介し、活動を大いに盛り上げることができました。研修後の感想文では、講話について言及されるものもありましたが、何と云ってもスポーツ活動が楽しかったと述べる児童が多く、学生の指導が子どもたちの活動に活力を与え、モチベーションの高めたことをうかがうことができました。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		運動能力UP遊び体験会	
実施日時・期間		平成31年2月10日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市総合体育館
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		旭川市体育協会	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 板谷 厚, 運動学ゼミナール	
	運営者とその人数	教員 1名, 旭川校学生 3名	
	対象者とその人数	旭川市内在住の未就学児 40名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		未就学児の運動遊び指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市内在住の未就学児を対象とした運動遊び指導です。板谷は指導統括を担当し、指導の内容、指導法、および当日の指導実践を行いました。指導内容は、幼児期運動指針に示された幼児期に身につけるべき運動、すなわち体のバランスを取る動き、体を移動する動き、および用具を操作する動きをまんべんなく取り入れ、しかも、子どもたちがからだを動かす楽しさや爽快感を味わえるように工夫を凝らしたものです。学生は、初対面の未就学児に対しても臆することなく積極的に関わり、子どもたちが楽しく活動に打ち込めるように導いてくれました。学生にとっては、未就学児に接する機会がこれまでの学生生活をつうじても多いわけではなく、学びの多い機会となりました。子どもたちは終始楽しそうに活発に活動し、保護者の皆様もそのような子どもたちの様子をご覧になり、大変満足した様子でした。このことは、活動後のアンケートにもあらわれており、同様の企画を望む声が多数聞かれました。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進	●	
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		



## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		旭川市立神楽保育所豆まき大会	
実施日時・期間		平成31年2月1日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	旭川市立神楽保育所
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	その他(学生等)	
	担当者・担当委員会など	運動学ゼミナール	
	運営者とその人数	旭川校学生 5名	
	対象者とその人数	神楽保育所に通所する幼児 約50名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		節分の豆まきイベント	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、旭川市立神楽保育所の節分豆まき大会の実施をサポートするものです。学生は、赤鬼、青鬼、および福の神に扮し、節分の豆まきイベントを盛り上げました。鬼役、福の神役以外の学生は、子どもたちに豆まきの手本を示しました。鬼を見て泣き出す子どももありましたが、子どもの純真な姿に心あらわれるとともに、子どもの心の理解が深まったとは参加学生のコメントです。一方で、季節感を大切に保育のあり方に感銘を受ける学生もあり、大変有意義なイベント参加となりました。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		出前授業	
実施日時・期間		平成30年8月30日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	鉦路市立山花小中学校
		市町村名	鉦路市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		鉦路校の研究協力指定校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学法人	
	担当者・担当委員会など	へき地・小規模校教育研究センター	
	運営者とその人数	センター員 2名, 鉦路校学生 12名	
	対象者とその人数	小学生 9名, 中学生 11名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		山花神社祭の奉納相撲大会に向けた相撲指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、山花神社(鉦路市)で行われるお祭りの奉納相撲に参加する児童・生徒に、相撲を指導するものである。本事業は昆布森小学校での実践を耳にした山花小中学校より依頼を受けて行ったものである。</p> <p>また、このような武道や相撲の指導場面を見たことのない鉦路校の保健体育の免許取得希望者12名も、武道授業の一環として、その指導法を学ぶため参観した。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		出前授業	
実施日時・期間		平成30年9月20日・21日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	鉦路町立昆布森小学校
		市町村名	鉦路町
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		鉦路校の研究協力指定校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学法人	
	担当者・担当委員会など	へき地・小規模校教育研究センター	
	運営者とその人数	センター員 2名, 鉦路校学生 2名	
	対象者とその人数	全校児童 26名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		昆布森神社祭の奉納相撲大会に向けた相撲指導	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、昆布森神社(鉦路町)で行われるお祭りの奉納相撲に参加する児童に相撲を指導するものである。本事業は昨年度より実施しているが、昨年度の指導により、それまでより奉納相撲らしい相撲になったと地域の方々からも好評であったため、今年度も依頼を受け指導に出向いた。</p> <p>また、このような武道や相撲の指導場面を見たことのない鉦路校の保健体育の免許取得希望者も、武道授業の一環として、その指導法を学ぶため参観した。(鉦路新聞9月22日参照)</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言		←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	<b>【基本方針について】</b> これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上	●	
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		



## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		出前授業	
実施日時・期間		平成30年12月13日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	帯広市立第四中学校
		市町村名	帯広市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		無	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	芸術・保健体育教育専攻 小出 高義	
	運営者とその人数	大学教員 1名, 体育教諭 8名	
	対象者とその人数	中学校保健体育教諭 8名, 中学生 78名	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		出前授業における授業研究会	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>本事業は、昨年度保健体育を卒業した教員から、帯広市立第四中学校で実践する相撲授業について協力依頼を受けたことに端を発する。北海道における中学校体育で、武道領域の中でも相撲を実践している学校は、一割にも満たないため、どのように実施したらよいかを出前授業形式により、近隣の体育研究会に所属する先生方との研究会に広がりを見せた。1年生3クラスの生徒に1時間ずつ導入場面の授業を実施した。その様子を参観した体育教師により、意見交換が行われた。(十勝毎日新聞12月20日参照)</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。 (複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的实施		

## 地域連携活動 実施報告シート

事業名称		北海道旭川西高等学校 平成30年度SSH事業 理数科 課題研究 中間報告会・課題研究発表会	
実施日時・期間		平成30年7月18日・11月13日・12月14日	
実施場所 (必ず市町村名を入れてください。)		会場名等	北海道旭川西高等学校
		市町村名	旭川市
相互協力協定先 (協定先がある場合、市町村名、学校名等を記載)		北海道旭川西高等学校	
共催者の有無 (共催者がいる場合は、共催者名を記入)		無	
事業提案者 (プルダウンリストから選択) ※過去からの継続事業で提案者不明の場合「不明」を選択		地域からの要望	
学校支援ボランティア		無	←学校支援ボランティアの該当の有無を選択
参加者・ 担当者	主催者(主導者) (プルダウンリストから選択)	大学教員	
	担当者・担当委員会など	理科教育専攻 永山 昌史	
	運営者とその人数	大学教員 1名, 旭川校大学院生 5名(7月のみ)	
	対象者とその人数	旭川西高等学校 理数科全学年 120名(7月) 旭川西高等学校 理数科2年生 40名(11月・12月)	
活動の概要 (おおよその内容を記載してください。)		理数科2年生課題研究の中間報告会における助言, 課題研究発表会における講評・評価	
活動の内容(詳細を記載してください。) ※写真がある場合は、添付ファイル等でご提供ください。			
<p>北海道旭川西高等学校では、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の一環として、創造性・独創性・研究開発意欲の向上や、様々な課題に対応するための論理的・科学的思考力の育成をねらいとした課題研究を実施している。具体的には、翌年度6月の最終発表(英語)を目標とし、理数科2年生の40名が5名前後の8グループ(物理分野1グループ、化学分野3グループ、生物学分野2グループ、地学分野1グループ、数学分野1グループ)に分かれて理科および数学の各分野についての研究を継続的に行っている。</p> <p>2年生が研究開始から数か月の成果を1年生および3年生に対してポスター発表する第1回中間報告会が7月18日に開催され、先方からの依頼により永山と理科教育専攻の大学院生5名(1年生4名, 2年生1名)が助言者として参加した。計8件の発表を聴講したが、取り上げられているテーマはどれも興味深いものであった、研究者の視点からの面白さを伝えるとともに、この先どのように研究を進めていけば良いかという点を中心に助言を行った。</p> <p>第2回中間報告会では、7月18日に開催された第1回中間報告会(ポスター発表)からの4か月間での進捗状況を中心に、各グループ10分間の口頭発表が実施された。順調に進展しているものやテーマの方向を大きく変えたものなど、どの発表も興味深く拝聴した。12月の全校発表会に向けて、各発表に対して測定値の統計的な取り扱いや結果の解釈、結果をまとめるうえで必要となるだろう追加実験などについての助言を行った。</p> <p>課題研究発表会は、7月と11月に開催された中間報告会での助言を基に結果のまとめを行い、学内外にグループごとに約8月間にわたる研究成果を向けて発表するものである。設定したテーマによって、成果につながったもの、なかなかつながらなかったものがあったが、生徒が自身の成果を一生懸命伝えようとする姿勢に感動した。次年度以降も、機会があれば是非参加したいと思う。</p>			
対応する基本方針	1.地域の教育問題・課題への提言	●	←事業に対応する基本方針を選択してください。(複数選択可)
	2.地域や学校の地域ニーズへの応答	●	【基本方針について】 これまで本学が実施してきた地域連携・貢献の取組を踏まえ、キャンパスの特性を活かした活動を展開することを第一義として、平成30年2月14日に地域連携推進室(全学)において定められたものです。 詳細は本学HPにて参照してください。 ・掲載場所 [全学HP>特色ある取り組み>地域連携推進室]
	3.地域をフィールドとした学生教育の質の向上		
	4.地域をフィールドとした研究の推進		
	5.相互協力協定先との事業の継続的実施		

## 学生ボランティア派遣事業（概要）

北海道教育大学旭川校  
地域教育連携・貢献推進委員会

### 1. 本事業のねらい

相互協力協定を締結している北海道教育大学と旭川市との協力事業の一つとして、旭川校の学生を派遣要請のあった旭川市内の小・中学校に派遣することを通し、学生のボランティア意識の高揚や教職に求められる資質能力の向上を期待するとともに、確かな学力や豊かな人間性などの育成を目指し、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな教育活動を支援することにより、地域社会への貢献と旭川校の実践的教育研究の充実を図る。

### 2. 事業開始

2005（平成 17）年（後期 12 月）

\* 当初、3 年計画で実施。その後、事業の成果に鑑み継続実施し、現在に至っている。

### 3. 活動内容

教育課程内の教育活動（学習指導、特別支援学級支援等）

### 4. 学生派遣までの過程等

(1) 1 年間を前・後期の 2 期に分けて実施（前期：5 月～9 月、後期：10 月～2 月）

(2) 学生派遣までの流れ（前、後期共通）

- 1) 小中学校の申請のとりまとめ（市教委）
- 2) 説明会（大学）
- 3) 派遣校への通知（市教委）
- 4) 事前指導（大学）
- 5) 打ち合わせ（学生・派遣校）
- 6) 活動開始
- 7) 事後指導（大学）
- 8) 活動報告書の取りまとめ（大学、市教委）

(3) 活動計画書及び報告書 I・II の提出

- ・活動計画書：活動開始前に、学校との打合せ終了後に大学に提出
- ・活動報告書 I・II：活動終了後に大学に提出

(4) 学生ボランティア派遣事業連絡協議会の開催

年度末の 3 月に、旭川教育委員会・旭川市小、中学校校長会・大学の三者でその年度の事業全体にわたっての事業報告・協議等を行い、次年度に生かす。

5. 派遣校及び学生実績数（2005年度後期～2018年度）

年 度	期	小 学 校			中 学 校			派 遣 総 数
		申請校数	派遣校数	派遣学生数	申請校数	派遣校数	派遣学生数	
2005 (平成 17)	後期	28	24	97	9	6	9	106
2006 (平成 18)	前期	20	20	70	10	7	8	78
	後期	27	21	61	8	3	5	66
2007 (平成 19)	前期	21	17	63	5	1	3	66
	後期	30	18	49	5	3	6	55
2008 (平成 20)	前期	24	18	54	9	2	9	63
	後期	32	22	62	7	6	15	77
2009 (平成 21)	前期	27	17	80	8	4	11	91
	後期	27	20	75	9	7	19	94
2010 (平成 22)	前期	19	7	27	10	7	11	38
	後期	28	17	59	13	11	26	85
2011 (平成 23)	前期	21	12	33	9	7	10	43
	後期	34	12	41	13	10	25	66
2012 (平成 24)	前期	13	11	22	10	2	2	24
	後期	34	16	37	15	6	13	50
2013 (平成 25)	前期	26	13	45	10	5	11	56
	後期	36	29	79	12	9	38	117
2014 (平成 26)	前期	29	13	39	13	8	14	53
	後期	39	25	88	12	7	18	106
2015 (平成 27)	前期	36	28	76	12	9	21	97
	後期	37	27	92	12	9	24	116
2016 (平成 28)	前期	38	16	47	11	8	21	68
	後期	35	23	82	11	8	26	108
2017 (平成 29)	前期	35	19	74	10	4	21	95
	後期	37	26	76	8	5	26	102
2018 (平成 30)	前期	31	14	63	9	6	20	83
	後期	35	19	76	9	5	28	104

\* 派遣学生数については、一人で複数校参加もあり、延べ人数を示す。

## 6. 活動内容の概要（2005 年度後期～2018 年度）

### （1）学習指導の補助

#### ・ 授業の指導補助

机間巡視 個別指導補助 学習規律指導補助 支援が必要な児童生徒への学習支援補助  
版画 ミシン 理科実験 書写 調理実習等の指導補助・準備等  
特に小学校における算数や中学校における数学，英語学習の補助が多い

#### ・ 放課後学習，長期休暇中の学習指導補助

#### ・ 水泳学習，スキー学習における指導補助

#### ・ 生活科や総合学習で校外に出かける際の引率補助

### （2）特別支援学級の児童生徒への指導補助

#### ・ 学習及び生活全般にわたる補助，普通学級との交流学习の際の補助

### （3）学校行事への補助

#### ・ 運動会，遠足，学芸会などの補助

#### ・ 中連大会の引率補助

### （4）学校図書館運営の補助

#### ・ 学校図書館充実への補助，図書委員会活動への補助，本の読み聞かせ活動への補助

## 7. 成果

\* 小・中学校の教育活動の充実（上記の「活動内容」についての貢献）

\* 大学としての主たる目的である地域貢献に寄与するとともに，教職を目指す学生にとっての実践的資質能力の習得及び向上に大きな貢献となっている。

\* 受け入れ学校及び旭川市教育委員会にとって，欠かすことのできない事業となってきている。

## 8. 小・中学校からの要望

\* 本事業の継続

\* 水泳学習やスキー学習への多人数の派遣

\* 特別支援学級への継続的な派遣

\* 通年を通しての同一学生の派遣

## 9. 課題

\* 派遣申請学校の約 5～6 割しか派遣できていない。また大学近郊の小中学校への派遣が多く，遠距離，小規模校への派遣が少ない。

\* ほとんどの学生は，意欲的に活動し学校からの感謝の声も多いが，一部学生は，マナーやボランティアとしての資質に欠ける面が見られる。説明会や事前指導でボランティアの意義等について再度周知する必要がある。

平成30年度 前期 授業公開講座開講一覧

前期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	漢文学史	大橋 賢一	8人
2	社会学概論	角 一典	11人
3	社会学演習Ⅲ	角 一典	3人
4	音楽教育学概説Ⅰ	芳賀 均	5人

平成30年度 後期 授業公開講座開講一覧

後期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	漢文学講読Ⅱ	大橋 賢一	6人
2	社会調査論	角 一典	1人
3	現代と社会Ⅱ	角 一典	5人
4	社会学演習Ⅳ	角 一典	2人
5	楷書法Ⅱ	西川 竜矢	10人
6	音楽教育学概説Ⅱ	芳賀 均	4人
7	小学校音楽科教育法AH	芳賀 均	2人
8	小学校音楽科教育法BCD	芳賀 均	3人
9	小学校音楽科教育法EFG	芳賀 均	5人
10	日本文学概論(近代)	村田 裕和	9人

平成30年度 後期 一般公開講座開講一覧

後期

	講座(授業)名	担当教員	受講人数
1	楽しく学ぶクラシック音楽入門	芳賀 均	12人

### 平成30年度 大学訪問受入実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	内容
30.04.17	北海道紋別高等学校 (1年生)	42人	施設見学・授業見学・出身学生との懇談 ※宿泊研修の一環
30.04.17	北海道南富良野高等学校 (1年生)	25人	授業見学 ※宿泊研修の一環
30.04.18	北海道豊富高等学校 (1年生)	7人	授業見学・施設見学 ※宿泊研修の一環
30.04.25	北海道枝幸高等学校 (1年生)	65人	出身学生との懇談・模擬授業・施設見学 ※宿泊研修の一環
30.04.26	北海道遠軽高等学校 (1年生)	73人	施設見学・授業見学 ※宿泊研修の一環
30.05.01	旭川明成高等学校 (2年生)	51人	模擬授業
30.07.31	北海道名寄高等学校 (1・2年生)	29人	出身学生との懇談・学食利用・施設見学
30.08.23	中部大学第一高等学校 (2年生)	17人	施設見学・模擬授業 ※修学旅行の一環
30.09.19	北海道士別翔雲高等学校 (1年生)	42人	模擬授業・施設見学
30.10.12	北海道羽幌高等学校 (3年生)	1人	施設見学・授業見学・学食利用
30.11.07	北海道旭川永嶺高等学校 (1・2年生)	37人	学食利用・出身学生との懇談・授業見学

### 平成30年度 出前講座実績一覧

年月日	学校名(学年)	人数	講師
30.06.25	札幌光星高等学校 (2年生)	32人	英語教育専攻 片桐 徳昭 准教授
30.07.20	北海道旭川永嶺高等学校 (2年生)	19人	英語教育専攻 笠原 究 教授
30.07.24	北海道遠軽高等学校 (2・3年生)	35人	数学教育専攻 相馬 一彦 教授
30.09.12	北海道留萌高等学校 (1・2年生)	33人	教育発達専攻 教育学分野 高橋 均 准教授
30.09.21	北海道岩見沢西高等学校 (1年生)	31人	国語教育専攻 作田 将三郎 准教授
30.10.17	北海道小樽桜陽高等学校 (1年生)	227人	理科教育専攻 永山 昌史 准教授
30.11.14	北海道天塩高等学校 (1・2年生)	17人	社会科教育専攻 角 一典 教授

平成30年度 審議会等委員派遣一覧

委嘱された審議会・委員会等	任期
北海道教育委員会・北海道スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	27.5.15～32.3.31
旭川市・子ども・子育て審議会委員	27.7.1～30.6.30 30.7.1～33.6.30
旭川市・旭川市国際交流委員会委員	28.4.12～30.4.11 30.4.1～32.3.31
旭川市都市計画部・都市計画審議会委員	28.5.1～30.4.30
旭川市教育委員会・旭川市社会教育委員	28.5.1～30.4.30 30.5.1～32.4.30
旭川市教育委員会・特別支援教育推進委員会委員	28.6.1～30.5.31
旭川市教育委員会・旭川市博物館協議会委員	28.7.1～30.6.30 30.7.1～32.6.30
旭川市・旭川市生活館運営審議会委員	28.7.7～30.7.6 30.7.7～32.7.6
旭川市・旭川市食育推進会議委員	28.7.上旬～30.7.上旬 30.7.1～32.6.30
旭川市・屋外広告物審議会委員	28.7.12～30.7.11 30.8～32.8
旭川市・旭川市緑の審議会委員	28.8.1～30.7.31 30.10～32.10
旭川市教育委員会・旭川市文化財審議会委員	28.8.1～30.7.31 30.8.1～32.3.31
旭川市地域振興部・旭川市景観審議会委員	28.9.24～30.9.23 30.9.24～32.9.23
旭川市地域振興部・景観アドバイザー	28.10.30～30.10.29 30.10.30～32.10.29
市立旭川病院・倫理委員会委員	28.12.27～30.12.26 30.12.27～32.12.26
旭川医科大学・倫理委員会委員	29.4.1～31.3.31
旭川医科大学病院・遺伝子治療臨床研究審査委員会委員	29.4.1～31.3.31
旭川市環境部・環境審議会委員	29.4.24～31.4.23
旭川市・旭川市行財政改革推進委員会委員	29.6.1～31.5.31
旭川市環境部・廃棄物減量等推進審議会委員	29.6.1～31.5.31
旭川市教育委員会・旭川市民文化会館運営審議会委員	29.7.1～31.6.30
旭川市・旭川市奨学生等選考委員会委員	29.7.1～33.6.30



委嘱された審議会・委員会等	任期
旭川市教育委員会・中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館協議会委員	29.7～30.5.31 30.6.1～32.5.31
旭川家庭裁判所・家庭裁判所委員会委員	29.8.3～31.8.2
旭川市教育委員会・旭川市音楽堂等運営協議会委員	29.9.1～31.8.31
旭川市・旭川市国民健康保険運営協議会委員	29.9.6～31.9.5
旭川市・情報公開・個人情報保護委員会委員	29.10.1～31.9.30
旭川市・旭川市工芸センター運営委員会委員	29.12.1～31.11.30
旭川地方裁判所・簡易裁判所判事推薦委員会委員	29.12.18～32.12.17
旭川市・旭川市住居表示等審議会委員	30.1.26～32.1.25
旭川市・旭川市特別職報酬等審議会委員	30.1下旬～30.7
旭川市・旭川市市民参加推進会議委員	30.2.27～32.2.26
旭川市・旭川市消費生活会議委員	30.2下旬～32.2下旬
北海道上川総合振興局・道北地方医療安全推進協議会委員	30.3.5～31.3.31
北海道美深高等養護学校あいべつ校・学校評議員	30.4.1～31.3.31
第一管区海上保安本部・心の健康対策アドバイザー	30.4.1～31.3.31
旭川弁護士会・綱紀委員会予備委員	30.4.1～32.3.31
旭川家庭裁判所・家事調停委員	30.4.1～32.3.31
みずほ信託銀行株式会社・公益信託井原長治記念育英基金運営委員	30.4.1～32.3.31
国立大雪青少年交流の家・施設業務運営委員会委員	30.4～32.3.31
旭川市教育委員会・旭川市教育支援懇談会構成員	30.5.25～31.3.31
旭川市教育委員会・旭川市適応指導教室運営委員会委員	30.5.28～31.3.31
上川教育研修センター・運営協議会委員	30.5～32.3.31
北海道・北海道防災会議専門委員	30.6.5～31.3.31
北海道旭川養護学校・学校評議員	30.6.7～31.3.31
北海道立旭川美術館・北海道立旭川美術館協議会委員	30.6.10～32.6.9

委嘱された審議会・委員会等	任期
北海道教育庁留萌教育局・専門家チーム構成員	30.6.12～31.3.31
旭川市教育委員会・旭川市教科書調査委員会委員	30.6.14～30.8下旬
北海道・「北海道史編さん委員会」専門委員	30.6.14～32.6.13
北海道教育庁留萌教育局・留萌教育局管内特別支援連携協議会構成員	30.6.18 31.2中旬
北海道教育庁上川教育局・上川管内特別支援連絡協議会構成員	30.6.21
北海道教育委員会・認定講習検討会議構成員	30.6.29～31.3.31
旭川市教育委員会・教育委員会の事務に関する点検・評価に係る意見提出者	30.6下旬～30.8下旬
旭川市・北彩都ガーデン大池愛称選考委員会委員	30.6～30.9月上旬
国立教育政策研究所・プロジェクト研究に係る委員	30.6～31.3.31
北海道教育庁上川教育局・上川管内専門家チーム構成員	30.6～31.3.31
旭川市教育委員会・学校評議員	30.6～31.3.31
旭川市教育委員会・旭川市図書館協議会委員	30.6～31.11.30
北海道教育庁学校教育局・実践研究検討会議構成員	30.7.12 31.1～2
旭川市・旭川市ごみ減量等推進優良事業所認定審査会委員	30.7～30.11.14
旭川市教育委員会・旭川市学校教育基本計画懇話会構成員	30.7～30.11
旭川市教育委員会・旭川市いじめ防止基本方針懇話会参加者	30.7～31.1
旭川市教育委員会・旭川市文化賞選考委員	30.8.9～30.11.3
旭川市・旭川市総合計画審議会委員	30.8～31.7
国立武蔵野学院・図書・資料室運営委員会委員	30.10.1～31.3.31
旭川市・人権擁護委員	30.10.1～33.9.30
旭川市・北彩都ガーデン指定管理者選考委員会委員	30.10月上旬～30.12下旬
国立武蔵野学院・武蔵野学院百周年記念事業に関する委員会委員	30.10～31.3.31
大雪山火山防災協議会・大雪山火山防災協議会への参画	30.11～31.3.31
公益財団法人教科書研究センター・調査研究委員会委員	30.12月上旬～31.3.31

委嘱された審議会・委員会等	任期
北海道上川総合振興局・大雪山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会委員	30.12～31.3.31
旭川市・旭川市砂像製作隊派遣候補検討会メンバー	31.1.10～31.1.23の いずれか1日
北海道NIE推進協議会・委員	31.2.27
北海道教育庁学校教育局・会議出席者	31.3.11

平成30年度 講演会等講師・助言者等派遣一覧

依頼された講演会等	開催日	対象者
鷹栖町教育委員会・ 鷹栖町指導改善(道徳教育)プロジェクト	30.4.1～ 31.3.31	教育関係者
第2回日本DCD学会学術集会プレングレス	30.4.14	教育関係者
旭川地域児童デイサービス等連絡協議会研修会	30.4.15	関係職員
北海道旭川東高等学校「保健講話」	30.4.27	高校生
日本文化科学社・ 「日本版Bayley-Ⅲ乳幼児発達検査」標準化調査 検査者研修	30.4.29	調査協力者
北・ほっかいどうカウンセラー養成講座	30.4.19～ 30.10.25 (全9回)	資格取得希望者
胆振教育局・ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	30.5.30	教育関係者
上川教育研修センター研修講座	30.6.6～ 30.10.5 (全16回)	教育関係者
臨床発達心理士指定科目取得講習会	30.6.10	資格取得希望者
函館市南北海道教育センター・学校運営研修会	30.6.14	教育関係者
外国語教育メディア学会関東支部研究大会	30.6.16	教育関係者
NPO法人地域生活支援ネットワークきらり・職員研修	30.6.16	関係職員
北海道滝川高等学校・校外研修	30.6.19	高校生
旭川市立神居東小学校・校内研修	30.6.22	関係職員
岐阜県発達障害者支援センター・アセスメント研修	30.7.1	関係職員
旭川少年鑑別所拡大研究会	30.7.5 30.11.16	関係職員
旭川市立日章小学校・校内研修	30.7.6 30.10.5 30.11.9	関係職員
旭川市子ども総合相談センター 「アセスメント研修～WISC-Ⅳ検査の実施～」	30.7.9	教育関係者
当麻町立当麻中学校・校内研修	30.7.12	関係職員
上富良野町教育委員会・特別支援教育連絡協議会	30.7.17	関係職員
北海道旭川西高等学校・「SSH課題研究」	30.7.18 30.11.13 30.12.14	高校生
石狩教育研修センター・数学科教育 実技・理論研修会	30.7.20	教育関係者
鷹栖町特別支援教育連絡協議会研修会	30.7.23	関係職員
学校教育局・中堅教諭等資質向上研修(幼稚園)	30.7.24	教育関係者
旭川市立永山南小学校・校内研修会	30.7.24	関係職員
国立障害者リハビリテーションセンター・ 発達障害者地域支援マネジャー研修会(基礎研修)	30.7.26	関係職員
グリーンテックス株式会社・ 北彩都ガーデンに生息する昆虫の勉強会	30.7.29	一般市民

依頼された講演会等	開催日	対象者
北海道私立幼稚園協会・教員免許状更新講習	30.8.2 30.8.3 31.1.10	教育関係者
十勝教育研修センター研修講座	30.8.3	教育関係者
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館・旭川彫刻散歩	30.8.19	一般市民
胆振教育局・地域連携研修	30.8.27	教育関係者
旭川市教育委員会・生徒指導研究協議会	30.8.30	教育関係者
オホーツク教育局・ミドルリーダー養成研修	30.8.30	教育関係者
上川教育局・地域連携研修	30.9.5	教育関係者
オホーツク教育局・地域連携研修	30.9.13 30.11.22	教育関係者
稚内市立稚内南小学校・ 校内研修「特別な教科道徳の授業づくりについて」	30.9.18 31.2.5	関係職員
青森県発達障害者支援センター・ 「Vineland-Ⅱ 適応行動尺度・感覚プロファイル」研修会	30.9.22 30.9.23	関係職員
上川造形教育研究大会	30.9.26	教育関係者
上川管内教育研究会各地区研究大会	30.10.2 30.10.9 30.10.10	教育関係者
旭川市体育協会・親子チャレンジ運動教室	30.10.2～ 30.11.20 (全8回)	一般市民
日高教育局・ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	30.10.5 30.10.19 30.11.14	教育関係者
和寒町教育研究会教育講演会	30.10.12	教育関係者
大谷保育協会・保育心理士養成講座	30.10.13	資格取得希望者
旭川市小・中学校教育研究大会	30.10.16	教育関係者
旭川市屋外広告物講習会	30.10.18	関係事業者
道北地区児童館連絡協議会・児童厚生員研修会	30.10.23	関係職員
北海道中学校理科教育研究会旭川大会	30.10.26	教育関係者
国立環境研究所琵琶湖分室セミナー	30.10.29	関係職員
空知教育局・地域連携研修	30.11.9 31.2.18	教育関係者
北海道滝川西高等学校・英語教育改善セミナー	30.11.12	教育関係者
幌加内町教育研究会講演会	30.11.12	教育関係者
後志教育局・女性教員を対象としたミドルリーダー養成研修	30.11.12	教育関係者
日高教育局・地域連携研修	30.11.13 30.11.21	教育関係者
オホーツク教育局・ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	30.11.14	教育関係者
富良野市教育委員会・いじめに関する講演会	30.11.14	一般市民
宗谷教育局・ ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	30.11.14	教育関係者
空知教育局 ほっかいどう学力向上推進事業「授業改善等支援事業」	30.11.16	教育関係者

依頼された講演会等	開催日	対象者
石巻教育研究会一斉授業研究会	30.11.16	教育関係者
福井大学子どもこのころの発達研究センター講演会	30.11.17	一般市民
富山県発達障害者支援センター・ 発達障害アセスメントツール導入研修	30.11.18	関係職員
上川管内スポーツ少年団・スポーツリーダー養成講習会兼 スポーツ少年団認定員養成講習会	30.11.18	少年団加入者
岩見沢市教育委員会・養成塾「教師力を磨く会」	30.11.19	教育関係者
太宰府市(小学校)全教員研修会	30.11.28	教育関係者
大山町立大山小学校授業研修会 大山中学校区合同研究会	30.11.30	教育関係者
宮城県発達障害者支援センター・ Vineland-II(適応行動尺度)研修会	30.12.2	関係職員
山陽放送学術文化財団・ シンポジウム 慈愛と福祉の先駆者たち	30.12.4	一般市民
旭川市立豊岡小学校・小学校外国語活動研修	30.12.14 31.2.8	関係職員
福島県教育委員会・福島の未来を創る授業研究会	30.12.14	教育関係者
旭川家庭裁判所・調査官自庁研修	30.12.17	関係職員
檜山教育局・ 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	30.12.19	教育関係者
北海道旭川西高等学校「プレゼンテーション講座」	30.12.20	高校生
士別市教育委員会・ 小中学校における新学習指導要領の実施に向けた研修会	30.12.25	教育関係者
宗谷公立学校教頭会「冬季研修会」	31.1.7	教育関係者
上川学校教育相談研究会冬季研修会	31.1.7	教育関係者
北海道音楽教育連盟・「冬季音楽実技講習会」	31.1.7 31.1.8	教育関係者
東京家庭学校・施設内研修	31.1.10	関係職員
上川へき地・複式教育研究連盟「経営研修会」	31.1.11	教育関係者
帯広市生徒指導連絡協議会「生徒指導研修会」	31.1.23	教育関係者
旭川市スポーツ少年団「リーダー養成宿泊研修会」	31.1.26	少年団加入者
JICA課題別研修 「サブサハラ地域 地方教育強化(SMASE)」コース	31.1.31	研修員
鳴門教育大学附属小学校教育研究会	31.2.2 31.2.3	教育関係者
旭川市教育研究会算数・数学部総括研究大会	31.2.6	教育関係者
旭川市体育協会・運動能力UP遊び体験会	31.2.10	一般市民
放送大学北海道学習センター講演会 「子どもの未来をつくる食育～フランスの味覚教育から～」	31.2.10	一般市民
旭川ねむのき会・職員研修	31.2.12	関係職員
沖縄県発達障害者支援センター・ Vineland-II 適応行動尺度実践研修会	31.2.17	関係職員
新興出版社啓林館・ 小学校理科「理科を学ぶ力を育てる指導のコツ」セミナー	31.2.17	教育関係者
旭川市立桜岡中学校・体育科授業	31.2.21	高校生
石狩教育局・地域連携研修	31.2.22	教育関係者

依頼された講演会等	開催日	対象者
石狩教育局・女性教員を対象としたミドルリーダー養成研修	31.2.25	教育関係者
江別市民文化ホール・「合唱団えぽあ」指導	31.3.17	合唱団員
北海道旭川西高等学校SSH事業	31.3.18	高校生
NPO法人地域生活支援ネットワークきらり・学習会	31.3.22	関係職員